



# 八潮市長 大山しのぶ 風

## ニュースレター

■大山しのぶ事務所  
埼玉県八潮市八潮2-18-8  
パークアヴェニューK  
TEL.048-994-6000  
FAX.048-994-6001

■最新情報はホームページで  
<http://www.s-oyama.jp/>

編集・発行 / やしおママ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000

# 2020年～2021年へ!

## オール八潮で、力を合わせ with コロナでも 笑顔が見られるように!



いつも八潮市の市政運営にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。そして、このコロナ禍において市内の医療関係者の皆様をはじめ、命と暮らしを守り支えるために日夜、力を尽くされている多くの皆様に心より感謝申し上げる次第です。

### 01 安全・安心な学校給食のため、 万全を尽くします!

6月末には市内の小中学校において、学校給食による集団食中毒が発生いたしました。被害にあわれた児童・生徒・教職員の皆様に心よりお詫びとお見舞い申し上げますとともに、保護者の皆様をはじめ、市民の皆様にご心配やご迷惑をお掛けしたことを改めて深くお詫び申し上げます。給食の民間への全面委託の中で起きた事故でしたが、二度とこのようなことの無いよう、衛生管理から調理の委託のあり方などあらゆる面で検討を重ねています。安全・安心な学校給食を提供するため、衛生管理の徹底、再発防止に万全を尽くしてまいります。

### 02 新型コロナ対策として、 八潮市独自の施策を行う

1月16日、中国の武漢市から帰国した30代の男性から新型コロナウイルスが検出されたのを皮切りに、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号での集団感染、夏に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックの延期、全国の学校閉鎖、「緊急事態宣言」の発令…と、これまで経験したことのない出来事に翻弄されました。市といたしましても、皆様の日常生活を守るため、迅速な対応をするべく、2月21日に対策本

部を立ち上げ、対策を打ち出してきました。

まず、子育て世帯への支援として、国の子育て世帯への臨時特別給付金(児童一人当たり1万円)に上乘せする形で市独自で児童一人あたり5千円を給付、さらに市独自にひとり親の子育て世帯には児童一人あたり2万円の給付を行いました。マスク不足については、防災用備蓄マスクの活用を決め、医療従事者の皆様に優先で配布をし、妊産婦、保育所、学童、重症化リスクの高い老人福祉施設にも配布いたしました。また、アルコール消毒液も医療関係施設や保育所に優先的に配布いたしました。今後の再流行や他の災害に備え、市として引き続き、サージカルマスクやアルコール消毒液等の備蓄を進めてまいります。

さらに、生活支援や経済的負担の軽減を目的として、水道使用料の基本料金50パーセントを4か月間減免することとしました。また、市内の飲食店を応援するために、商工会と連携し「八潮市テイクアウト・デリバリー応援事業」を行いました。引き続き、新型コロナ対策には全力をあげているところです。

### 03 失われたコミュニケーションを 取り戻し、情報や思いの共有へ!

来るべき2021年は、感染拡大防止、コロナ禍で傷ついた経済と市民生活の再生を図らねばなりません。

コロナウィルスの完全撲滅の時期が明確で無い中では、コロナ禍を前提にいかに市政を進めていくかが求められていきます。

私は市民の皆様の命と健康を守るための感染対策を最重要事項とし、国や県、医師会と連携し、PCR検査の拡充や普段からの健康支援などの対策を引き続き図ってまいります。

また、地域経済の維持・発展の担い手である市内の企業の応援や、生活支援、子育て支援、高齢者対策への支援に今後も注力してまいります。

そして、忘れてはならないのが、感染対策として、いわゆる「密」を回避するために様々な集まりを中止・延期したことで、地域力の基盤である市民と市民、行政と市民などのコミュニケーションの機会が失われてしまっていることです。地域の防災の要として策定を進めている「地区防災計画」についても、皆様と集まることが出来ず、遅れが出てしまっています。

来年は、コロナ禍で減ったお互いのコミュニケーションを取り戻し、皆様と情報や状況、そして思いを共有して、この局面をオール八潮で乗り切りたいと思います。力を合わせ、お互い笑顔が見られるように頑張っていきましょう。私は、市民の皆様の命と健康を守り、八潮市を「住みやすさナンバー1のまち」とすべく、今後とも全力を尽くして参ります。

## 八潮市長 大山しのぶ

### 大山忍(おおやま・しのぶ)プロフィール

●昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(63歳) ●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒 ●大学卒業後、機械メーカーでサラリーマン～国会議員秘書経験12年 ●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ ●平成12年、埼玉県議会議員に初当選(4期連続当選) ●平成25年9月8日の八潮市長選挙に立候補。1万9717票をいただき、八潮市長に初当選 ●平成29年9月3日、無投票で2期目当選

# 2021年の新年報告会は中止します

新型コロナウイルスの感染拡大防止のためです。ご理解をよろしくお願いいたします。

新型コロナ  
ウイルス  
最新情報はコチラ

▶首相官邸



▶埼玉県



▶八潮市



# 2020年 活動ダイジェスト



新型コロナウイルスの関係で、全国的に多くの事業が中止になったり延期に追い込まれました。八潮市においてもその影響は大きなものでしたが、そんな中でも大山しのぶのリーダーシップのもと、事業は着実に進んでいます。ここでは、その主なものをピックアップしてご紹介します。

## 新庁舎建設基本設計の策定

### いよいよイメージが見えてきた…市民説明会の開催

4月10日に八潮市新庁舎建設基本設計(素案)を公表し、その後、市民説明会を開催しました。2021年に実施設計を経て、着工、2024年1月オープンを目指しています。大山しのぶは、単なる庁舎の建て替えにとどまらず、保健センターを合築し健康づくりの拠点として、人と人、まちと人が「つながる場」として、にぎわいを創出する場を目指しています。

また、庁舎の建て替えにあたり、食堂や売店等新施設の導入や新しい施設の維持管理手法など、新しい施設・手法の導入に向けた検討が必要となることから、事業検討の段階で、公募による「対話」を通じて事業者や市場の動向を調査するサウンディング型市場調査を実施しました。これより、事業者が市場として参入しやすい条件、活用に向けたアイデアなどを把握することで民間の力を活かしながら、市民に愛される庁舎を目指します。



新庁舎の完成イメージ

## 東埼玉道路の事業決定

### 埼玉県東南部地域道路研究会、北部拠点まちづくり事業も

国交省は3月31日、東埼玉道路(自動車専用部の八潮市八條~松伏町田島間の延長9.5キロ)の新規事業化を発表しました。大山しのぶは、残る未事業化区間の早期事業化と一日も早い圏央道までの全線開通を目指し、ストック効果を最大限に発揮する取組みをより一層推進します。(仮称)外環八潮PAをはじめ、周辺整備事業など、東南部地域では様々な事業が動き出すことから、草加市、三郷市と「埼玉県東南部地域道路研究会」を発足いたしました。相互に情報や考え方を共有し、「道」づくりから「まち」づくりに繋げるよう全力で取り組んでまいります。

また、北部拠点のまちづくり事業の重要な施設である、(仮称)外環八潮PA接続型の(仮称)外環八潮スマートICの整備に向けた検討と併せ、スマートICのアクセス道路となる(仮称)入谷東西線の整備に向けた検討を進めております。



草加市長、三郷市長との研究会

## 学校のICT環境の整備

### 本年度中に全小中学生へタブレット配布…GAGAスクールへ

GIGAスクール構想は、児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を実現させる構想です。本市では、21年4月中にすべての児童生徒が高速ネットワーク環境の下で1人1台端末を使えるよう整備し、また、端末を活用した授業を円滑に進めるため電子黒板を3クラスに1台程度導入します。大山しのぶは、今後も教育におけるICT環境を積極的に整備し、公正に個別最適化された創造性を育む新しい八潮の教育を推進していきます。



GIGAスクールに向けて授業風景も変わる

## 子育て事業の推進

### 病児病後児保育施設の運営、新生児聴覚スクリーニング検査費用助成

病気やけがのため保育園や幼稚園、学校に通園・通学できない子どもや、保護者の状況により自宅での看護が困難になった子どもを一時的に保育士、看護師のいる専門施設で預かり、病気の回復期に至っていない児童や、病気の回復期にある児童を保育する「病児病後児保育事業」を開始しました。また、聴覚障がいのある早期発見のため「新生児聴覚スクリーニング検査」について、生活保護受給世帯及び、市民税非課税世帯を対象に検査費用の一部を助成することとしました。

大山しのぶはこれからも、子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを推進してまいります。



新しく開設された病児病後児保育室

## 高齢者の介護予防も拡充

### フレイル予防事業を推進…シルバー世代の健康・安心のために

市民の皆さんが健康でいきいきと暮らすことができるように、フレイルサポーター(ボランティア)を養成し、県内初となるフレイルチェック測定会を開催いたしました。フレイルとは、高齢になって筋力や心身の活力が低下した状態(健康と要介護の間)で、虚弱を意味します。フレイルサポーターの活動により、市民がフレイルの兆候を早期に発見し、生活習慣の改善で進行を遅らせることで、健康寿命の延伸を目指します。

大山しのぶは、この取り組みを進め、健康への意識を高めて、全国の先駆けとなる、シルバー世代も安心して暮らすことのできるまちづくりへ積極果敢に取り組んでまいります。



フレイルサポーターの皆様と

## 市民生活の向上に向け、各種団体・企業と協定を

### 防災、高齢者見守り、オリンピック・パラリンピック…。

災害発生時には、「自助、共助」はもちろん、市、団体、企業が協力し災害対応を図ることが重要です。そのため、本市では、災害対策本部において、判断の基礎となる地図データを活用できるよう、(株)ゼンリンと「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」を締結し、また、災害時の水道施設の応急対策を迅速かつ的確に進めるため、(株)東計電算と「水道応急活動協定」を締結しました。そして、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるため、草加警察署と「八潮市徘徊症状のみられる高齢者等の情報共有に関する協定」を締結しました。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とした地域社会の発展及び市民サービスの向上を目的としてコカ・コーラボトラーズジャパン(株)と包括連携協定を締結いたしました。大山しのぶは、それぞれの団体・企業が持つ資源を活かし協働したまちづくりを進めてまいります。

大山しのぶ  
事務所

埼玉県八潮市八潮2-18-8 パークアヴェニューK  
TEL.048-994-6000 FAX.048-994-6001

最新情報は  
WEBで!

ホーム  
ページ  
公式  
ブログ

<http://www.s-oyama.jp/>  
<http://ameblo.jp/oyama-shinobu/>